

株主の皆様へ

第70期中間事業のご報告

2020年4月1日から2020年9月30日まで



福留ハム株式会社

証券コード2291

CONTENTS

株主の皆様へ.....	1
当中間期の概況.....	2
セグメント別の概況.....	3
セグメント別売上高.....	4
通期の見通し.....	4
中間連結財務諸表.....	5
会社概況.....	8
株式概況.....	9

株主の皆様へ



代表取締役社長 福 原 治 彦

株主の皆様には、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援を賜わりあつくお礼申し上げます。

ここに第70期中間事業のご報告をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

2020年12月

当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を受け、日本国内においても企業・経済活動が大きく制限され非常に厳しい状況となりました。GOTOトラベルやGOTOイートなどの政府の各種政策による効果もあり、一部持ち直しの動きがみられるものの、景気回復の改善には至っておらず、個人消費においても、将来の不安からくる節約志向や経済の下振れリスク懸念が高まるなど依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、あふれる味覚をもってお客様から選ばれ続ける存在となるべく努めてまいりました。新型コロナウイルス感染症対策としましては、従業員及び関係者の健康と安全を守ることを最優先とし、「F R A(福留ハム・リスクマネジメント・アクション)委員会」を適宜開催し、オフィスの分散化や衛生管理など感染リスク対策の徹底、さらにはテレビ会議等の活用など全社員に周知徹底を行い、事業リスクの最小化や事業活動の継続に取り組んでまいりました。また、今期を初年度とした「中期経営計画2021年3月期 - 2023年3月期」を策定し、初年度においては、「競争力向上のためのコスト構造改革」を重点施策として、最適な資源配分と業務の効率化、無駄の排除を通じた筋肉質なコスト構造への転換を進めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、125億72百万円(前年同期比1.3%減)となりました。利益につきましては、営業損失は1億89百万円(前年同期は営業損失2億64百万円)、経常損失は1億73百万円(前年同期は経常損失2億41百万円)となりました。中間純損益につきましては、親会社株主に帰属する中間純損失は1億86百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失8億38百万円)となりました。

セグメント別の概況

●加工食品事業

加工食品事業につきましては、引き続き消費者の節約志向や企業間競争の激化など厳しさを増すなか、リニューアルした「花ソーセージ」のCM放映に加え、毎月100名様に商品詰め合わせセットやQ U Oカードが当たる「岡山昴工場1周年記念キャンペーン」を実施し、販売強化を図ってまいりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大による内食需要の影響により、「J A S 上級あらびきポークウインナー」や「J A S 特級あらびきポークウインナー」、昨年発売いたしました「あらびきK I N G」などのウインナー類や「ポロニアソーセージステーキ」などのソーセージ類、さらには「肉厚ハンバーグ」シリーズや「炭火焼きハンバーグ」などのハンバーグ類が堅調に推移し、売上高は増加いたしました。利益面におきましても、生産性の改善やコスト削減努力を継続したことなどにより増加いたしました。

その結果、売上高は58億10百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

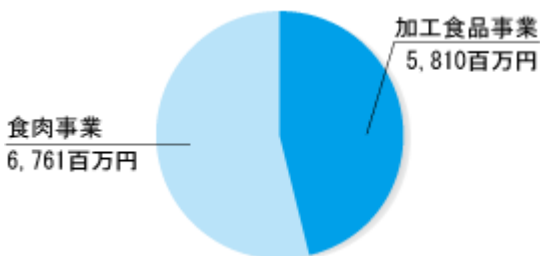
●食肉事業

食肉事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う消費行動や市場構造の変化による内食需要の増大により国産豚肉の需要が増えたものの、外食需要低迷の影響を受け、食肉事業全体の取扱量は減少いたしました。売上高は、牛肉相場が大きく値を下げたことによる国産牛肉の売上単価の低下や、採算を重視して販売を見直したことなどにより前年同中間期を下回りました。利益面につきましては、国産豚肉の需要拡大による豚肉相場の上昇に伴う仕入れコストの増大や輸入牛肉・輸入豚肉における入船遅れの影響による物流費の上昇などにより、前年同中間期を下回りました。

その結果、売上高は67億61百万円（前年同期比5.6%減）となりました。

セグメント別売上高

区 分	売 上 高	構 成 比	前年同期比
加工食品事業	5,810百万円	46.2%	4.2%
食 肉 事 業	6,761百万円	53.8%	△5.6%
合 計	12,572百万円	100.0%	△1.3%



通期の見通し

通期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う消費行動や市場構造の変化により内食需要や巣ごもり消費の高まり等が見込まれる一方、豚肉相場の上昇や物流費の上昇、さらには将来不安からくる節約志向などにより、大変厳しい状況で推移するものと予測されます。

このような状況の中、当社グループは、下期における収益の重要ポイントとして位置づけているギフト販売におきまして、主力商品「ロマンティック街道」シリーズに新たなスライス商品を増やし、新商品としまして、イベリコ豚を使用した「ロースハム」を発売し、製品ラインアップを充実させるとともに、販売強化を図り、新規顧客拡大に努めてまいります。

また、筋肉質なコスト構造への転換を実現するため、最適な資源配分と業務の効率化、無駄の排除等の取り組みを引き続き進めてまいります。

通期の連結業績につきましては、売上高は250億円（前期比2.3%減）、営業損失は2億円（前期は営業損失5億36百万円）、経常損失は1億70百万円（前期は経常損失4億90百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は2億円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失14億4百万円）を予定しております。

中間連結財務諸表

● 中間連結貸借対照表

科目	当中間期	前中間期	前 期
	2020年9月30日現在	2019年9月30日現在	2020年3月31日現在
資産の部			
			単位：百万円
流動資産	6,044	6,533	6,369
固定資産	9,375	10,134	9,093
有形固定資産	6,978	7,921	7,133
無形固定資産	47	28	30
投資その他の資産	2,348	2,184	1,929
資産合計	15,419	16,667	15,462
負債の部			
流動負債	7,513	7,770	7,605
固定負債	3,660	4,035	3,734
負債合計	11,173	11,806	11,340
純資産の部			
株主資本	3,629	4,381	3,815
資本金	2,691	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503	1,503
利益剰余金	△485	266	△298
自己株式	△80	△80	△80
その他の包括利益累計額	615	479	305
その他有価証券評価差額金	671	561	373
退職給付に係る調整累計額	△56	△81	△67
非支配株主持分	0	0	0
純資産合計	4,245	4,861	4,122
負債及び純資産合計	15,419	16,667	15,462

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

●中間連結損益計算書

	当中間期	前中間期	前 期
科目	2020年4月1日から 2020年9月30日まで	2019年4月1日から 2019年9月30日まで	2019年4月1日から 2020年3月31日まで
単位：百万円			
売上高	12,572	12,739	25,597
売上原価	10,398	10,645	21,371
売上総利益	2,174	2,094	4,225
販売費及び一般管理費	2,363	2,358	4,762
営業損失	△189	△264	△536
営業外収益	67	73	143
営業外費用	51	50	97
経常損失	△173	△241	△490
特別利益	-	-	127
特別損失	-	27	457
税金等調整前中間 (当期)純損失	△173	△268	△820
法人税、住民税及び 事業税	12	12	26
法人税等調整額	-	557	557
中間(当期)純損失	△186	△838	△1,404
非支配株主に帰属する 中間純利益又は当期純損失(△)	0	0	△0
親会社株主に帰属する 中間(当期)純損失	△186	△838	△1,404

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

●中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期	前中間期	前 期
	2020年4月1日から 2020年9月30日まで	2019年4月1日から 2019年9月30日まで	2019年4月1日から 2020年3月31日まで
単位：百万円			
営業活動によるキャッシュ・フロー	17	293	260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△151	△545	△352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209	△49	△254
現金及び現金同等物の増減額	△343	△301	△346
現金及び現金同等物の期首残高	2,392	2,738	2,738
現金及び現金同等物の中間期末（期末）残高	2,048	2,437	2,392

(注) 百万円未満の金額は切捨て表示しております。

会社概況

●会社概要

(2020年9月30日現在)

設立	1958年3月22日
資本金	26億9,137万円
従業員数	連結378名
本社	広島市西区草津港二丁目6番75号
支店	広島・山口・岡山・松山 高松・北九州・福岡・佐賀 大分・熊本
営業所	呉・松江・徳島・長崎 熊本南・鹿児島・宮崎
流通営業部	広島・岡山・福岡・関西 東京
工場	広島・熊本・岡山
直販店舗	外食：(焼肉一番団楽) 千田店・草津南駅前店 LECT店 精肉： 到津店・砂津店・太宰府店

●役員

(2020年9月30日現在)

代表取締役会長	中島修治	治彦
代表取締役社長	福田貫治	彦治
専務取締役	目田啓	誠行
常務取締役	砂場利正	美彦
取締役	草岡康孝	司
取締役相談役	末福原	貢
取締役	原越智	秋
取締役	中野千	
常勤監査役	吉田裕	二典
常勤監査役	明池石	朗博
監査役	池村藤	
監査役	近藤敏	

株式概況（2020年9月30日現在）

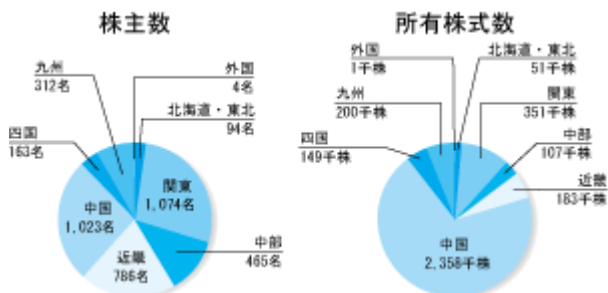
株式の状況

- ① 発行済株式の総数 3,336,668株
（自己株式63,332株を除く。）
- ② 株主数 3,921名

大株主

株主名	大株主の当社への出資状況	
	持株数	持株比率
	千株	%
有限会社福留興産	1,042	31.25
福栄会	332	9.95
福原康彦	130	3.89
中島修治	78	2.33
株式会社フジ	63	1.89
株式会社もみじ銀行	62	1.86
福原治彦	61	1.84
株式会社広島銀行	48	1.45
株式会社伊予銀行	46	1.39
株式会社福岡銀行	46	1.39
株式会社西日本シティ銀行	46	1.39

地域別株式分布状況



株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	定時株主総会については毎年3月31日 その他必要あるときは、公告して定めた日
剰余金配当株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 (アドレス http://www.fukutome.com) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 貸借対照表および損益計算書については、 EDINET に掲載いたしております。
株式事務取扱場所	
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
事務取扱場所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
郵便物送付先	〒168-8620
お問合せ先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 (各種届出用紙のご請求・其他のご照会) ☎0120-707-843
上場取引所	東京証券取引所市場第二部 証券コード (2291)
単元株式数	100株